



# 平成29年9月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成29年8月10日

上場会社名 株式会社イグニス  
 コード番号 3689 URL <http://1923.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 錢 鋰  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO (氏名) 山本 彰彦  
 四半期報告書提出予定日 平成29年8月10日  
 配当支払開始予定日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東  
 TEL 03-6408-6820

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成29年9月期第3四半期の連結業績(平成28年10月1日～平成29年6月30日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年9月期第3四半期	4,109	1.8	123	89.7	112	90.6	10	98.9
28年9月期第3四半期	4,035	260.3	1,202		1,197		1,000	

(注) 包括利益 29年9月期第3四半期 23百万円 ( %) 28年9月期第3四半期 994百万円 ( %)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期 純利益
	円 銭	円 銭
29年9月期第3四半期	1.62	1.55
28年9月期第3四半期	162.90	155.51

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年9月期第3四半期	6,030	4,189	67.8
28年9月期	4,332	2,497	56.1

(参考) 自己資本 29年9月期第3四半期 4,090百万円 28年9月期 2,431百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年9月期		0.00		0.00	0.00
29年9月期		0.00			
29年9月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成29年9月期の連結業績予想(平成28年10月1日～平成29年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高	
	百万円	%
通期	6,000	7.4

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年9月期3Q	6,702,800 株	28年9月期	6,235,700 株
期末自己株式数	29年9月期3Q	21,564 株	28年9月期	21,564 株
期中平均株式数(四半期累計)	29年9月期3Q	6,540,434 株	28年9月期3Q	6,143,195 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3、「当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法について)

四半期決算補足説明資料はTDnetで同日開示しています。また、音声による補足説明についても速やかに当社ウェブサイトに掲載する予定です。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報等)	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、政府及び日銀による財政・金融政策の継続・拡大を背景として、引き続き企業収益や雇用情勢の改善がみられる等、景気は緩やかな回復基調で推移しております。一方で、新興国・資源国等の景況悪化、英国のEU離脱問題や米国のトランプ政権発足によるグローバリズム後退懸念等、様々な面において世界規模で不確実性が高まっており、依然として先行きが不透明な状況が継続しております。

当社グループの主要な事業領域である国内スマートフォン向けアプリ市場は、スマートフォンの国内普及率が全体の過半数を超えて平成28年には60.2%となり（注1）、若年層を中心に依然として増加を続けていることを背景として、拡大を継続しております。国内スマートフォン向けゲーム市場については、平成28年度の市場規模が9,450億円に達する見込みであり、前年比で102%と予測されております（注2）。また、国内オンライン恋活・婚活マッチングサービス市場についても、平成29年の市場規模が208億円に達する見込みであり、前年比で133%と予測されております。（注3）

このような経営環境の中、当社グループは第1四半期連結会計期間より、既存ジャンルの枠組みを「無料ネイティブアプリ」「ネイティブソーシャルゲーム」から「コミュニティ」「ネイティブゲーム」「メディア（その他）」へと整理し、スマートフォンアプリ事業を行ってまいりました。これら3つのジャンルを既存事業の柱とし、また、新規ジャンルへの挑戦としてIoT、VRにおいて経営資源を投入しております。

なお、ジャンルごとの取り組みは以下のとおりであります。

- (注) 1. 出典：「平成28年版情報通信白書」（総務省）  
 2. 出典：株式会社矢野経済研究所[東京・文京区]  
 3. 出典：株式会社マッチングエージェント[東京・渋谷区]

## (コミュニティ)

当第3四半期連結累計期間は婚活サービス「with」を中心として、ユーザー同士によるコミュニティ形成にフォーカスした運用型サービスに注力いたしました。「with」については、先行投資として積極的なプロモーションを展開していることもあり、国内ソーシャルネットワークのカテゴリにおいて上位収斂が見られユーザー数の増加を継続しております。このような中、他社類似サービスとの差別化を図るべく、心理学を活用して最適な男女のマッチングを目指した新機能の開発に取り組んでまいりました。当該機能を実装することでユーザー数の増加を図ってまいります。

この結果、当第3四半期連結累計期間における当ジャンルの売上高は557,249千円となりました。前年同四半期における当ジャンルの売上高は60,181千円であったことから、前年同四半期比826.0%増となっております。

## (ネイティブゲーム)

当第3四半期連結累計期間は「ぼくとドラゴン」が、引き続き安定して推移いたしました。2周年記念イベントや季節イベント、人気コンテンツとのコラボレーション、機能追加等を実施いたしました。今後も機能改善及び運営チームによる多彩なイベントの実施等、開発及び運営双方に注力することで、業績の安定化に努めてまいります。また、2017年4月には「LINE大富豪」をリリースし100万ダウンロードを突破いたしました。その他、新規プロダクトの開発にも引き続き取り組んでおります。

この結果、当第3四半期連結累計期間における当ジャンルの売上高は3,247,485千円となりました。前年同四半期における当ジャンルの売上高は3,698,918千円であったことから、前年同四半期比12.2%減となっております。

## (メディア（その他）)

その他はビジネスパーソン向けメディア「U-NOTE」並びにいずれのジャンルにも属さないサービスにより構成されております。メディアについては、事業基盤の拡大に向けた新メディアの開発に取り組んでまいりました。また、中長期的な成長ジャンルとして、IoT並びにVR等へ積極的な投資を行っており、新規プロダクトの開発を進めております。

この結果、当第3四半期連結累計期間における当ジャンルの売上高は304,769千円となりました。前年同四半期における当ジャンルの売上高は276,422千円であったことから、前年同四半期比10.3%増となっております。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は4,109,505千円（前年同四半期比1.8%増）、営業利益は123,994千円（前年同四半期比89.7%減）、経常利益は112,714千円（前年同四半期比90.6%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は10,600千円（前年同四半期比98.9%減）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産)

当第3四半期連結会計期間末の総資産は6,030,432千円となり、前連結会計年度末に比べ1,697,911千円増加いたしました。流動資産は4,533,198千円（前連結会計年度末比1,446,779千円増）となりました。主な増加要因は、新株予約権の行使等により現金及び預金が299,189千円増加したこと、営業貸付金が608,206千円増加したこと、未収還付法人税等が381,589千円増加したことによるものであります。また、固定資産は1,497,234千円（前連結会計年度末比251,131千円増）となりました。主な増加要因は、事業規模拡大に伴う本社オフィスの増床等により有形固定資産が91,511千円、投資その他の資産が167,091千円増加したことによるものであります。

## (負債)

当第3四半期連結会計期間末の負債は1,840,572千円となり、前連結会計年度末に比べ6,001千円増加いたしました。流動負債は1,236,584千円（前連結会計年度末比153,415千円減）となりました。主な減少要因は、法人税等の支払により未払法人税等が811,288千円減少したこと、主な増加要因は、運転資金の借入により短期借入金が300,000千円増加したことによるものであります。また、固定負債は603,988千円（前連結会計年度末比159,417千円増）となりました。主な増加要因は運転資金の借入により長期借入金が126,807千円増加したことによるものであります。

## (純資産)

当第3四半期連結会計期間末の純資産は4,189,860千円となり、前連結会計年度末に比べ1,691,909千円増加いたしました。主な増加要因は、新株予約権の行使により資本金が883,190千円、資本準備金が883,160千円増加したことによるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年9月期の連結業績予想につきましては、平成28年11月11日に公表いたしました「平成28年9月期 決算短信」の内容に変更はございません。なお、業績予想は、同資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成しており、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,170,383	2,469,573
売掛金	395,619	532,540
営業貸付金	70,000	678,206
貯蔵品	7,694	5,194
未収還付法人税等	—	381,589
その他	442,720	466,094
流動資産合計	3,086,418	4,533,198
固定資産		
有形固定資産	112,136	203,647
無形固定資産		
のれん	106,915	87,009
ソフトウェア	379,064	391,500
無形固定資産合計	485,980	478,509
投資その他の資産	647,985	815,077
固定資産合計	1,246,103	1,497,234
資産合計	4,332,521	6,030,432
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	29,214	20,803
短期借入金	—	300,000
1年内返済予定の長期借入金	183,356	320,816
未払金	230,392	308,090
未払法人税等	814,248	2,959
その他	132,788	283,915
流動負債合計	1,390,000	1,236,584
固定負債		
長期借入金	339,971	466,778
資産除去債務	104,600	137,210
固定負債合計	444,571	603,988
負債合計	1,834,571	1,840,572
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	621,566	1,504,756
資本剰余金	620,461	1,389,609
利益剰余金	1,244,807	1,244,797
自己株式	△51,933	△51,933
株主資本合計	2,434,902	4,087,230
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△3,374	3,444
その他の包括利益累計額合計	△3,374	3,444
新株予約権	3,212	5,313
非支配株主持分	63,210	93,871
純資産合計	2,497,950	4,189,860
負債純資産合計	4,332,521	6,030,432

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年10月1日 至平成28年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年10月1日 至平成29年6月30日)
売上高	4,035,522	4,109,505
売上原価	647,406	779,273
売上総利益	3,388,116	3,330,232
販売費及び一般管理費	2,185,155	3,206,238
営業利益	1,202,960	123,994
営業外収益		
受取利息	1,769	2,349
為替差益	—	883
雑収入	375	997
営業外収益合計	2,144	4,229
営業外費用		
支払利息	987	3,311
持分法による投資損失	4,561	182
株式交付費	—	6,843
貸倒引当金繰入額	—	3,999
雑損失	2,007	1,172
営業外費用合計	7,557	15,509
経常利益	1,197,547	112,714
特別利益		
関係会社株式売却益	590,154	—
特別利益合計	590,154	—
特別損失		
貸倒引当金繰入額	100,000	—
特別損失合計	100,000	—
税金等調整前四半期純利益	1,687,702	112,714
法人税、住民税及び事業税	773,519	63,977
法人税等調整額	△88,950	78,627
法人税等合計	684,568	142,605
四半期純利益又は四半期純損失(△)	1,003,133	△29,890
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	2,422	△40,490
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,000,710	10,600

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年10月1日 至平成28年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年10月1日 至平成29年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	1,003,133	△29,890
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△8,877	6,819
その他の包括利益合計	△8,877	6,819
四半期包括利益	994,256	△23,071
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	991,833	17,419
非支配株主に係る四半期包括利益	2,422	△40,490



(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成28年11月9日から平成28年11月16日までの間に、ドイツ銀行ロンドン支店から第8回及び第9回新株予約権の行使による払込みを受けました。その結果、他の新株予約権の行使による増加と合わせて、資本金が883,190千円、資本準備金が883,160千円増加し、当第3四半期連結会計期間末において資本金が1,504,756千円、資本準備金が1,503,622千円となっております。

(追加情報)

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

(セグメント情報等)

開示情報としての重要性が乏しいため、記載を省略しております。